



今月の題字  
しばた なつき ちゃん  
(大浦小1年)

# 田町のわだい

## 2つの懸仏を文化財に指定 当時の信仰知る貴重な資料

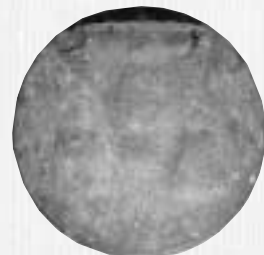
町教育委員会では、本町の旧家が所有する2つの懸仏<sup>かけぼん</sup>を町指定有形文化財に指定しました。本町の文化財指定は平成3年以来であり、6件目と7件目に指定されたのは織笠の中村眞一さん(72)が所有する「大釜熊野山神社懸仏」と豊間根の尾形惣一さん(63)が所有する「島田熊野神社懸仏」。2つの懸仏は室町時代後期から江戸時代初期に制作され、旧家の神社のご神体として受け継がれたもので、当時の民衆の信仰を知る上で貴重な資料となります。指定書の交付式は3月23日、町中央コミュニティセンターで行われ、佐藤幸男教育委員長から2人に指定書が手渡されました。



指定書を手にする中村眞一さん(右)と尾形惣一さん



大釜熊野山神社懸仏



島田熊野神社懸仏



## 本町3組目の家族経営協定 魅力ある農業経営に励みたい

本町3組目の「家族経営協定」の調印式が3月24日、役場特別応接室で行われました。家族経営協定は、家族が農業経営の役割分担や就業条件などを文書で明確にし、農業経営の安定と発展を目指すもので、今回締結したのは織笠で水稲と野菜、花き栽培を営む小林隆(61)さんご家族4人。調印式には隆さん・隆広さん(34)親子が出席し、沼崎喜一町長、町農業委員会の阿部勲会長職務代理者、宮古農業改良普及センターの高橋定一所長らが見守る中、協定書に調印しました。調印後、隆広さんは「家族全員で協力し合い、魅力ある農業経営に励んでいきたい」と抱負を述べました。

## 「ホタテラーメン」新作発表 今夏の商品化を目指して

山田町商工会では3月22日、新商品「ホタテラーメン」の試食会を宮古地方振興局で開きました。本町の川石水産(川石睦代表)が宮古地区広域商工観光振興協議会の助成を受けて開発したもので、試食会には同局や町関係者など30人が出席しました。ホタテラーメンは、天日干しにしたホタテの貝柱とヒモをパウダー状にしてめんのに練り込んだのが特徴で、スープはボイルした煮汁を使用。大きなホタテが丸ごと一つトッピングされています。同社では試食会での結果を踏まえ改良し、今夏の商品化を目指します。

